

座間中学生への 避難所開設についての講話と話し合い

令和2年12月22日(火)、座間中学校で避難所開設訓練についての講話と話し合いを行いました。

これは11月に実施した避難所開設訓練の打ち合わせに座間中学校を訪れた際、田附校長から中学生に防災訓練について話をして頂きたいとの申し入れがあり実施したものです。

当日の参加者は、田附校長、清水教頭、教職員4名、生徒は1年生5名、2年生5名、市危機管理課中齊氏と緑ヶ丘地区自連の湯浅会長、座間中学校避難所運営委員会の森でした。

校長先生の挨拶の後、湯浅会長が準備したパワーポイントによる講話は、避難所開設訓練が平成29年より始まり今年で4年目を迎えることや年ごとの訓練の内容を説明し、まだ訓練内容に課題も残っているが、中学生にも手伝ってもらえることがいろいろある事を説明しました。

講話後、中学生に質問や意見を一人ずつ発表してもらいました。



湯浅会長のPowerPointによる講話
1年生5名



田附校長、清水教頭、
2年生5名

【生徒の主な質問と意見】

- 体育館が密になるのが心配。→ ・避難所は自宅に住めない人に来てもらい、出来るだけ自宅避難をしてもらいたい。
・感染症対策（消毒液、フェイスシールド、手袋など）はしっかりと行う。
- 情報の提供はどうするのか。→ ・掲示板を設置し、足りなければ壁を使う。マイクを利用する。
・在宅者には回覧板や掲示板でお知らせする。
- 今日聞いたことをクラスの中学生に伝え、防災について何が出来るか考えておく。
- 気付いたこと（テントの設営、物資の運搬、高齢者の手助け、子供の相手等）を手伝うようにしたい。
- 避難者の心のケアのため、話し相手になる。

【感想】

災害についてマスコミなどを通じて色々な知識を得ているようで、サポートしようという姿勢を感じました。

[座間中学校避難所運営委員会]